



越路 12月 (No.117)

発行 / 越路町役場 (新潟県三島郡越路町) TEL 越路 (02589) 2-3111 ■ 印刷 / 大川印刷株式会社



町内一周 駅伝大会

町の人口		
住民基本台帳人口 (10月末日現在)		
		前月比
世帯数	3,051戸	+ 3
人口	13,718人	+ 4
内訳		
男	6,679人	+ 7
女	7,039人	- 3

- ▼ 昭和三十八年度決算状況
 ▼ 飲酒運転追放百日運動
 ▼ スライドで国民年金、農業者年金が増額
 ▼ 越路小学校とりいれまつり

今月の主な内容

全長二十六・五キロメートルのコースを(男子一チーム九名、女子十二名)二十五チームの選手が走る駅伝大会は十一月三日、文化の日に行われました。県下ではめずらしい女子だけのチームや男女混合チーム五チームをまじえて熱戦が展開されました。



日	17 友引
1 種痘検診 (塚山小、岩塚小)	18 水
2 種痘検診 (役場)	19 仏滅
3 種痘検診 (東谷小、浦区)	20 大金安
4 種痘検診 (役場)	21 土
5 友引	22 日
6 土	23 友引
7 日	24 火
8 仏滅	25 仏滅
9 大金安	26 大金安
10 農地法各条許可申請書受付切日	27 金
11 乳児検診 (塚野山公民館)	28 土
12 乳児検診 (役場)	29 友引
13 乳児検診 (岩田公民館)	30 月
14 大金安	31 仏滅
15 日	1月 1日
16 心配ごと相談日 (役場)	6日 心配ごと相談日 (役場)

12月 広報カレンダー

余白はメモにどうぞ

文化祭行事成績

○ 駅伝大会
 一般の部
 優勝 塚野山青年会
 二位 小坂・三位 浦青年会
 中学男子の部
 優勝 越路中選抜
 二位 塚山中A・三位 越路中三年
 中学女子の部
 優勝 越路中一年
 1時間26分37秒
 1時間44分51秒

○ 囲碁大会
 優勝 米山悦雄
 二位 高橋栄吉
 三位 井口政則

○ 菊花展
 一位 高頭志郎
 二位 小野成重作
 三位 山崎福松

○ 美術展
 絵画 郷 勝美
 書道 大川峰子

赤い羽根募金
 ありがとうございます
 町民各位の深いご理解に厚くお礼申し上げます。
 募金額 九〇九、九六四円

今月は国民年金の納入月です。
 納入日 12月23日

わが町の「家計簿」

昭和48年度決算

1千632万円の黒字(一般会計)

越路町告示第十二号

越路町の財政事情を

次のように公表します

昭和四十九年十二月二日
越路町長 勝又俊導

昭和四十八年度の一般会計と国民健康保険等特別会計の決算が九月町議会で認定されましたので、その概要とあわせて、昭和四十八年度上半期(四月～九月)の予算の執行状況をお知らせします。

また、これより先に、ガス事業会計の決算も六月町議会認定されておりますのでお知らせします。

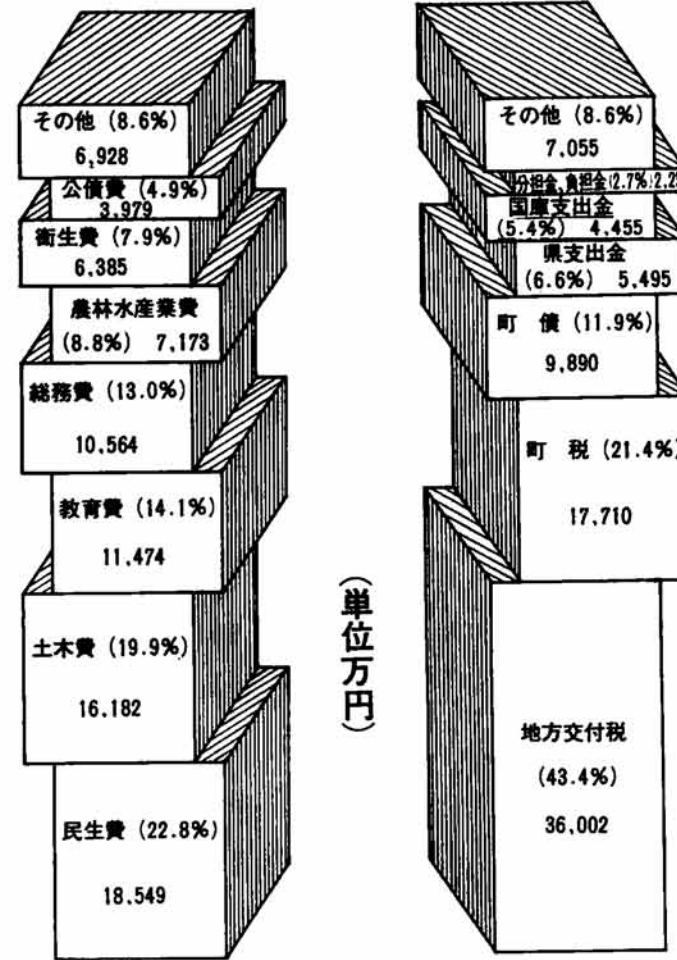
一般会計

一、決算のあらまし

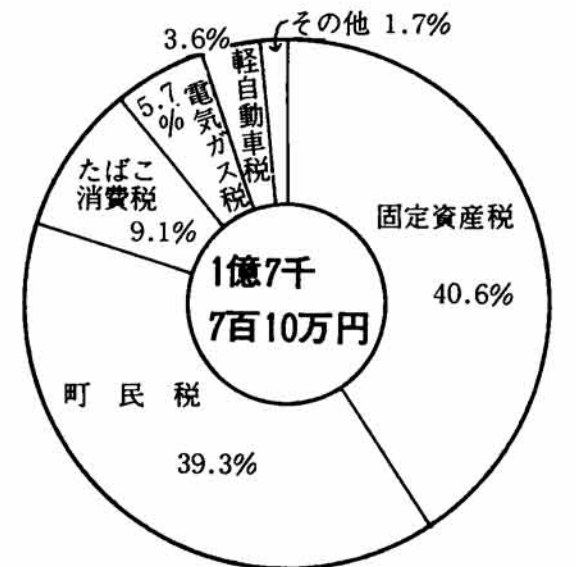
昭和四十八年度の一般会計は当初六億四千八百七十八万円の予算でありましたが、その後六回の追加補正があり、最終予算額は八億二千八百七十九万円となりました。これに対し決算額は歳入八億二千

歳出8億1千234万円

歳入8億2千866万円



町税の内訳



二、歳入の状況

歳入予算額と決算額を比較しますと、十三万円減であります。歳入で主なものはグラフのとおりですが地方交付税と町税で全体の六十五%を占めています。特に町税収入においては、本年度も百分の納税をいただき感謝いたしております。

三、歳出の状況

歳出の決算額は、八億二千二百三十四万円です。予算に対して九十八%の執行率であり、予備費千八十四

性質別歳出の推移

48年	27.1%	12.5%	15.7%	4.9%	34.2%	5.6%
47年	25.6%	10.9%	11.5%	5.4%	38.2%	8.4%
46年	24.8%	11.8%	6.4%	6.2%	38.0%	12.8%

人件費 物件費 補助費 公債費 普通建設費 その他

主な建設事業の概要 (単位千円)

事業名	事業費
浦保育所建設事業	35,765
岩塚保育所用地購入	8,142
水道企業団建設費負担金	22,517
農道整備事業	12,858
町道改良及び舗装工事	78,378
県道改良事業負担金	13,557
土地区画整備事業補助金	5,393
防火水槽建設(5基)	5,691
塚小暖房施設工事	11,800
衛生排水事業補助金	3,894
集落開発センター建設補助金	2,750
土地基盤整備事業補助金	4,130
加津葉川排水事業補助金	4,421
畜産経営移転補助	9,687

受診状況

は八百四十七万円で六%、保険施設費は三百三十三万で二%となっております。

歳入

歳入総額を前年度と比較すると十四%増となっております。歳入の主なものには国庫支出金八千九百八十九万円、保険料六千六百六十三万円それぞれ歳入全体の五十五%、四十%を占めています。

歳出

歳出総額を前年度と比較すると八%増にとどまりました。歳出のほとんどが保険給付費で、一億三千九百二十万円、全体の九十二%となっております。その他、総務費

国保会計決算状況

特別会計

昭和四十八年度の国保会計における歳入歳出の決算状況は、歳入総額一億六千二百九十一万円に対し、歳出総額一億五千五百五十四万円で差引一千三百三十七万円の黒字となりました。

昭和四十八年度の国保会計における歳入歳出の決算状況は、歳入総額一億六千二百九十一万円に対し、歳出総額一億五千五百五十四万円となり、差引一千三百三十七万円の黒字となりました。

昭和四十八年度の国保会計における歳入歳出の決算状況は、歳入総額一億六千二百九十一万円に対し、歳出総額一億五千五百五十四万円となり、差引一千三百三十七万円の黒字となりました。

1人当りの保険料と療養諸費の比較

	国保から医師等へ支払った金額	保険料として納めた金額
46年度	13,782円	6,175円
47年度	18,259	7,179
48年度	26,628	10,770

白山地区は故障もなく順調に給水ができ水道加入者の伸びも計画通りで今後の経営収支面も明るい見通しとなっております。

飯塚下条地区、飯塚川東地区は八月から九月にかけて水源の枯渇からしばしば水圧低下、高台の一部断水があり水源の改良をいたしました。現在小国町越路町広域簡水事業は飯塚地区施行中ですが本地区への給水開始は昭和五十年秋の見込みとなっておりますので切替えまでの御協力を願います。

簡易水道会計決算

被保険者一人一人が健康に留意され、明るい家庭づくりに努力されるようお願いいたします。

百一十戸計四百八十戸(前年比増百十七戸)二千四百六十六人の給水人口となっております。

ガス会計決算

ガス事業損益計算書

48年度純利益△ 1,707,698円

収 益	営業収益	営業雑益	営業外収益
58,965,958円	43,916,320円	9,311,622円	5,738,016円
費 用	営業費用	営業雑費	営業外費用
60,673,656円	43,769,022円	9,905,350円	6,999,284円

国際的な石油エネルギー危機の影響で、町営ガス事業も資材の高騰と不足で経営に大きな支障となり、特に原ガスの価格改訂で二十三日値上げされ、当年度において百七十万円の欠損を生じた。またガス需要量は、石油危機と豪雪の影響で前年度に比べ十四%の増加で順調な伸びを示している。

大きいことはいいことです

項 目	スライド前	スライド後
10年年金	150,000円 (月12,500円)	174,150円 (月14,512円)
5年年金(再開)	96,000円 (月8,000円)	111,456円 (月9,288円)
通算老令年金	800×保険料納付月数+ (免除月数×4)	同左×1.161
障害年金	1級 300,000円 (月25,000円) 2級 240,000円 (月20,000円)	1級 348,300円 (月29,025円) 2級 278,640円 (月23,220円)
母子年金	240,000円 (月20,000円)	278,640円 (月23,220円)

スライドで年金が増額 四カ月繰上げ支給開始

福祉年金は毎年引上げがありますので、スライドはありません。

国民年金では、これまでおおよそ五年に一度、財政再計算といたって、その時々の物価や生活水準にあわせて年金額や保険料を見なおす方法がとられてきました。しかし、最近のように社会や経済の動きが激しいと、それだけでは年金のねうちを一定に保つことが難しくなりました。そこで、昨年の法律改正により、毎年の物価が五パーセント以上変動のある場合、年金額もその率に

昭和四十九年度予算 (上半期) 執行状況

昭和四十九年度の一般会計予算額は、当初八億三千三十一万円でありましたが、その後二回の追加補正により九月末現在では九億三百六十六万円の規模に達し、当初予算に対し七千二百八十五万(八・八%)の増加を示しております。第一回の六月補正予算では、総額三千八百八十七万円の追加で塚山保育所付道路工事費六百九十九万円、白山市計画街路事業費千二百万円、農業施設災害復旧費(越路原外五地区)九百九十六万円等が補正の主なものでした。

最近における需要の推移 (44年を100とした場合)

	44年度	45年度	46年度	47年度	48年度
供給量	790千㎡	887千㎡	1,010千㎡	1,117千㎡	1,274千㎡
1か月1戸平均使用量	29.7㎡	32.9㎡	37.2㎡	40.8㎡	45.0㎡
	100	112	127	141	161
	100	110	125	137	151

(1か月1戸当りの平均使用量は44年の5割増となった)



飲酒運転追放 100日運動実施中

飲酒運転は交通事故の中でも最も悪質なものであり、誰でも悪い事と知っているにもかかわらず、無くなっているいません。交通事故のおそろしさや、悲惨さもみんな知っているはずですが、飲酒運転は自らそのおそろしい交通事故の中へ飛びこんでいくものです。これから年末年始にかけては飲酒する機会が多くなりますので、特にこの時期に当って、県下一斉

十一月十一日 二月十八日

酒のみ運転事故のもと

に飲酒運転の撲滅をはかるため、百日運動が実施されています。越路町では全家庭に飲酒運転防止のステッカーを配りますので玄関の見やすい場所に貼ってください。また、悪質違反者の氏名を公表することも検討されております。飲酒運転をなくするには、運転者の自覚はもちろんですが、家族の方々の監視や協力がなければなりません。車での客には絶対に酒は出さない習慣をつけてください。そして家族ぐるみで飲酒運転をなくし、悲惨な交通事故をなくすようにしましょう。

新しい保険料

保険料も改正され、月額千六百五十円になります。なお、改正は昭和五十年一月一日から実施されます。

農業者年金も改正

将来の物価の変動に応じて、年金額が自動的に改定されることになりました。昭和四十九年度の消費者物価指数を基準にして、今後一年間または継続する二年間以上の間に五パーセントを超えて変動した場合に、その変動率を基準にして改定されることになっています。この結果、インフレによる年金額の実質的価値の減少が防止されることになったわけでは

年金額が、2.2倍に引き上げられました。

保険料納付期間	経営移譲年金		農業者老齢年金	
	旧	新	旧	新
5年	8,000円	17,600円	1,000円	2,200円
20年	16,000円	35,200円	4,000円	8,800円
25年	20,000円	44,000円	5,000円	11,000円
30年	24,000円	52,800円	6,000円	13,200円

(注) 金額は月額です。

新民生委員決る

民生委員は十二月一日を期して全国一斉に改選され町においても先般民生委員推せん会において審議の結果次の方々がこれから三年間の任期で町の民生業務について御尽力願うことになりましたのでお知らせ致します。

- 浦 今井利喜作 浦保育所より
- 浦 岡村 峯吉 浦保育所より
- 神 島金安 トキ中島篠花 飯島
- 中 沢滝沢 トシ 西野中沢 全域
- 来迎寺安原 晃 来迎寺の上、中
- 来迎寺小野塚重作 来迎寺下部落 全域
- 来迎寺長谷川 テル 停車場より 西全
- 来迎寺野本 ミツ 停車場より 東全
- 朝 日平沢 タツ 朝日 全域
- 飯 塚中野 セツ 沢下条 全域
- 飯 塚中野 ツネ 飯塚用水西側 全域
- 飯 塚平石新次郎 飯塚用水東側 全域
- 飯 塚田中 善作 飯塚川東 全域
- 岩 田西脇 秀一 上岩田 全域
- 岩 田小林 妙子 下岩田 全域
- 不動沢酒井 二三 不動沢 全域
- 東 谷永井 健治 東谷 全域
- 西 谷上田 ヒロ 西谷 全域
- 塚野山大橋 フミヲ 塚野山二区、三
- 塚野山大矢 政市 塚野山一区、五
- 小 坂竹内 アイ 小坂 全域
- 菅 沼藤沢 茂俊 菅沼 全域
- 担当区域は以上ですが区域にこだわらず相談下さい。

雪ん子田んぼの とりいれまつり



越路の里は、半年近い長い雪の中での生活準備におわれています

十一月十一日越路小学校で、ひとあし早い「雪ん子」の収穫祭が行われました。雪ん子、それは雪ん子田んぼである実習田に子どもたちみずから田植えや稲刈をする農村地域に育つ子どもたちの稲作りに関する理解はきわめて低いといわれ、農家の子でさえも田植えや稲刈の経験はほとんどなく毎日食べている米が、どのような苦労と手順で作られるかを知り、労働に対する理解と勤労意欲と感謝の気持ちを育てあげ、愛情をこめて世話をする人間のたくま



みんなで稲刈を(九月)

① いんかんの話

印鑑(いんかん)とは

最近、土地の売買契約をはじめ、いろいろな契約において、「印鑑証明書」の添付を要求されることが多くなりました。

そこで、印鑑の重要性について、あらためて考えてみたいと思います。

まず、「印鑑」とはどのようなものであろうか。

私たちが日常使っている印は、どこにも届け出て(登録)ありませんので、「認印」といわれています。よくにいう「三文判」です。

それとは別に、印鑑証明書の添付を必要とする印は市町村役場に届け出ておかなければなりません。このように届け出(登録)された印を「印鑑(実印)」といわれています。

安全運転競技大会 二年連続団体優勝の浦班

去る九月二十三日、長岡地区交通安全協会主催による、第三回安全運転競技大会が、長岡試験場で行われました。十六団体、男子五十六名、女子三十四名の参加により、学科と実技の二科目で競技が争われました。

- ◎団体
 - 優勝 浦班
 - 関惠一、伊佐洋昭、佐藤勇、永井サキ、西脇綾子
- ◎個人
 - 男子 一位 関惠一
 - 四位 佐藤勇
 - 女子 二位 永井サキ



連続優勝の浦班

町道の共同消雪施設に助成します

申請は十二月末までに

町では皆さんが舗装町道に冬期 当者は役場土木課に照会の上申請 間臨時に設備する消雪送水パイプ してください。

1、舗装町道(農道、林道舗装道)

2、助成の対象は五十メートル以上の消雪のためのビニール管、ビニールホースに対して交付します。

3、助成の額は前記施設に要する額の六十パーセントとする。

4、すでに実施中のものについては、申請内容を検査の上決定します。

5、適正な交付のため、申請並びに実績の報告を求めます。



信仰と 米山塔 (6)

願主は道半と宮川の庚申組の同行連であり、庚申信仰による病氣厄災除けとあわせて、豊作祈願を祈って建立されたとのこと。

現在の同行は十月建立の、自然石そのままの堂々たる米山塔がある。昭和四十七年の道路改良で、小森俊平家前から移されたもので、大正二年にも一度「米山屋敷(元丸山勸事家跡)」から移されたものを、再度移転させたわけである。寄り、米山塔の前

講頭は高橋石松氏が数年前から、故白井又三郎氏の後をうけてお世話をしてのこと。

また、毎年交替で代表二名が柿崎町米山寺の密蔵院へ代参し、お札を受けつけて同行に配布している。これも故白井又三郎氏の努力のためものと、高橋石松氏は語ってくれた。

(合掌)

「ドロボウがふえています」

歳末防犯運動に協力を

今年の一月から六月までの半年間に、県内で二千八百九十九件の侵入盗(ドロボウ)が発生し、昨年同期と比べると百五十八件も多くなっています。

カギをかけたところや錠前のないところなど、戸締りの不完全なところから侵入されたケースが全体の半数以上を占めています。侵入盗を防ぐには、なんと

みなそろって
明るいお正月を

不燃物収集を 休止します

12月から来春まで

降雪期を迎え、不燃物埋立地への交通が困難となりましたので、不燃物収集を11月末で打ち切り、12月から来春まで休止いたします。来春の不燃物収集は、町報回覧等でお知らせします。

年末年始は ゴミの収集を休みます

12月31日～1月3日まで

降雪期ですので、収集日以外はゴミを出さないようにしてください。

◎ゴミは除雪路線の収集場所以外には出さないでください。

ポスト コーナー

◆年賀状は
12月15日から
22日まで
◆小包は12月15日
までに

年賀状の受付は十五日から始まり、元旦配達のためは二十一日までです。

○あて名をはっきりと
○○町○○丁目○○番○○○
様方「○○荘内」を忘れず
に、団地は「棟」「室」番号
を書きましよう。

郵便番号も住所の一部です
○小包の包装はしっかりと
水気のあるものは、丈夫な
ポリ袋などに入れ、荷札は必
ず二枚つけましよう。

共同防除の結果から

今年の作柄は前述のとおり、豊作でした。共済組合は必要最少限の水稲防除を、三回共同で行うことに全力をあげ、この結果を見たことは皆さん共々同慶のいたりです。このことは各農協・町産業課はじめ、関係諸団体の御指導による防除実施計画を、防除員さんその他のいかなる仕事をさしおいても忠実に実行にうつしていただいたためです。又組合員の皆さんにも、側面より色々御協力いただいたことも見落せません。

防除費は三回実施の分十アール当たり、九〇〇円の徴収を十月末をもってすませました。収支明細は別表のとおりです。諸経費の高騰により昨年より四〇〇円上りしましたが、積立金の取崩しや補助金をあて、当初の計画二、一〇〇円より安くあげられました。

例えば皆さんが三回分の農薬を個人で購入されると、十アール当たり一、四〇〇円になります。ですからこの農薬代を別にしますと五〇〇円の費用で三回の防除をしたことになりすから、決して高いものではないことを納得いただけると思います。

運営上の諸点については、各方面からの御意見を参考にし、検討反省を加え来年にそなえたいと思っております。

農業共済だより

防除事業収支明細

収入の部		
科目	金額(千円)	説明
収入防除費	25,000	10a当り1,900円徴収
県補助金	1,516	事故除外による防止補助
機械導入補助金	391	共済連より
特別積立金戻入	2,300	水稲掛金積立のうちより
更新引当金戻入	2,260	機械更新積立より
計	31,467	

支出の部		
科目	金額(千円)	説明
農薬費	15,052	
労務費	5,677	
車輻費	702	ケン引耕うん機借上料外
燃料費	790	
部品・修理費	1,890	
委託費	245	他市町へ委託分
管理費	1,350	部落協力費外
機械導入費	3,910	大型2・畦畔2・背動10
更新積立金	1,851	次年度防除導入のため
計	31,467	



農業共済だより 4号

発行 / 越路町農業共済組合 TEL 越路 (02589) 2-2172 ■ 印刷 / 大川印刷株式会社



検査ずみの米袋をとじる主婦たち (岩塚農協で)

上位等級米九〇% 今年の米の作況

昨年につぐ史上三番目の豊作で、今年の稲作も暮はりました。まず別表の町内各農協別の出荷米の状況を御覧いただきたい。総数は九五、七八六俵で、昨年と

ほぼ同じ(約千俵の増)でしたが等級別の割合を見ますと、三等以上が全体の九〇%をしめ、昨年の七三%をはるかにこえて、県下でも最高クラスにランクされます。

出荷米等級別俵数

農協名	1等	2等	3等	4等	5等	等外	計
来迎寺	72	28,231	21,684	3,531	216	299	54,063
石津	11	4,154	5,698	1,222	50	-	11,135
岩塚	157	6,535	7,289	1,197	97	237	15,512
塚山	225	4,391	7,962	2,058	293	117	15,076
計	465	13,311	12,633	8,008	686	683	95,786

出荷米等級別割合 (%)

農協名	1等	2等	3等	4等	5等	等外	計
来迎寺		52	10	7	-	1	100
石津	-	37	51	11	-	1	100
岩塚	1	42	17	8	1	1	100
塚山	1	29	53	14	2	1	100
計		45	15	8	1	1	100

このように今年の稲作は、一口発生が少なかつたのは、早植によると収量もまずまず、品質も特別良かったといえます。そこで今年の稲作をふりかえってみますと、田植の初期から分けツの最盛期にかけては、まれに見る好条件に恵まれましたが、六月下旬からの一ヶ月間は、ツユ明けもおくれて、おそ植地帯では葉イモチのまんえんが各所にみられ、穂首イモチへの移行は必至と予想される極めて不利な条件でした。しかし七月下旬をもって、ようやく天候は恢復。懸命な防除とあいまってかろうじて大事に至りませんでした。

平場の早植地帯では葉イモチの発生が少なかつたのは、早植による適期刈取りが順調だったためと思われる。反面等外米が、七〇%と昨年の六倍も出たこと、七〇%と昨年の六倍も出たこと、一つは反省材料になろうかと思ひます。

越路野の花 ②



サギソウ

サギソウが越路町のある所に自生しているという、かすかな噂を耳にしたのは大分以前のことである。

そこでお盆すぎの今年の最高気温を記録した日、首にカメラをさげ、サギソウのバック用にと黒い傘持参で汗をかきかきヤブを分け、半信半疑で探すこと数時間、ついにカメラにおさめたのがこの写真である。

名前の通り自然の妙はサギソウの花を作りあげた。数輪の花は細く長い茎の先端にひらき、微風にもすぐゆれ、まさに空のサギを彷彿とさせる。存在地は①としよう。何故なら極かざられた地帯で、絶滅に瀕している。心当りの方も探らないでほしい。栽培はむづかしいが希望される方は別途入手もできますので問合せいただきたい。

尚この辺は特異地域のためか、天然記念物級のトンボが生息するが回をあらためて紹介しよう。

メモ ラン科・多年草・花は八月、白で径3cm 莖高20~40cm・葉は広線形で基部は莖を鞘となつて包む、根はやや丸い球根。

天気予報

新潟地方気象台

十二月 月初めと月末は冬型気圧配置が強まって寒く、一時大雪のおそれ。中はころはおだやかになりそう。

一月 月初めと月末には冬型の気圧配置で一時大雪のおそれ。寒さは長続きしない。気温、日照は並み、降水量は並みか小。

これからは
一番火を
つかう季節

百万円で一、六〇〇円の
安い建物掛金で万一の火
災にそなえましょう。

◎ 加入のお問合せは
共済組合へどうぞ
TEL 2・2172

新総代、役員決まる

総代並に役員改選にあたり、十一月一日新しい総代が各地区とも選出され、十一月八日越路町農業会館で臨時総代会が開かれ、方々が役員として承認されました。又十一月十六日組合長、副組合長、代表監事の互選が行われ、下記の通り決定いたしました。就任はいずれも十一月十七日より三年間で、その間みなさんの代表として共済組合の運営執行にあたられます。

- 総代 (九〇名)**
- 東迎寺** 関栄一郎、丸山惣一郎
 - 番場** 一吉、深井秀二、山崎栄作
 - 高橋嘉四次、今井仁蔵**
 - 朝日** 郷洋二、郷良夫
 - 浦** 関矢留吉、平沢吉太
 - 小野塚** 軍次、佐藤隆、西脇源三
 - 岡村忠一、本多経四郎、平沢寛**
 - 白井清次郎**
 - 神谷** 白井保次、白井清茂
 - 高橋多市、丸山正信、白井光男**
 - 平沢与七**
 - 中沢** 滝沢松雄、山本脩
 - 番場惣一**
 - 西野** 徳刈六郎、山本二四郎
 - 小川多作、石坂与一郎**

役員

- 組合長** 丸山金太郎 (来迎寺)
- 副組合長** 吉原忠 (中島)
- 理事** 山田富治、野上公平 (岩野)
- 山崎亮一、佐藤勇次** (蓋ヶ島)
- 伊佐六弥** (仲島)
- 大塚勇三郎** (不動沢)
- 石原隆一、西沢強** (不動沢)
- 高橋三義、宮沢茂** (岩田)
- 平田正男、嘉瀬清一郎** (丸山久三郎、丸山徹郎、堀勝一)
- 丸山久三郎、林盛雄** (関谷良太郎、小林誠一)
- 中川新太郎、山崎勝一、田中一雄** (飯塚)
- 丸山三郎、佐藤源司** (内藤清一、内藤恵治)
- 渡辺源市、平石信一郎** (十楽寺)
- 横茂** (横茂)
- 鷺頭忠雄** (中島)
- 丸山秀雄、長束直** (沢下条)
- 重野正弘** (塚野山)
- 中村富男、中山俊男** (大矢秀雄、若林康一、大矢貫一)
- 大矢山次** (東谷)
- 内山孝司、内山賢策** (馬場邦雄、内山武重)
- 五十嵐和弘** (西谷)
- 清水定次郎、清水賢治** (長谷川美喜太郎、長谷川醇一)

- 小坂** 竹内久蔵、桑原政信
- 大野収平**
- 菅沼** 藤沢新一、藤野兼吉

組合長就任にあたり

丸山金太郎



例年になく早い初雪がきて、冬に突入しましたが、組合員の皆さんにおかれましては、益々お元気に活躍されていること存じます。この度役員改選にあたり、私、引続き組合長の重責をおうことになりました。不肖な私ですが、今までの経験を生かし、気持を新たに、この責任をはたしてまいりたいと存じます。

つきましては皆さんから何分の御指導、御協力をまずお願い申し上げます。

最近まで農業をとりまく情勢は食糧危機といわれながらも、農業自体じわじわと他産業に浸蝕される状態にありました。

しかし昨今県下の農村部に進出している、弱電気、機械関係会社などから、不況による人員解雇が当然のようにおこなわれています。

もちろん他産業の後退を良しとするものではありませんが、なにか経済のショックがあると、いつもそれをやわらげるクッションの役を、農業を営む人にあずけられ

てばかりではたまりません。先頃人口問題と合せて、世界食糧会議が開かれましたが、ともあれ人間万物の霊長というものの、生きていく以上、食べて出す生物の機能を止めるわけにはいきません。そのためにはわが国においても、農業のより以上の発展が肝要と痛切に感じます。

共済組合は一七〇〇名の組合員の皆さんが、専業、兼業を問わず農業に自信をもって従事できる一助となるよう、事業を推進してまいりたいと考えます。

具体的には申しますと、皆さんの農業技術の進歩と努力で、病虫害による被害は、近年ほとんどないということが出来ます。

農業災害補償制度の本身は、被害の補償にありますが、補償以前の事故防止、申しあげるともなく、皆さんの絶大な御協力により確立されました共同防除体制を、なお一層強力に進めてまいりたいと思っております。

右一端的抱負を申しのべましたが、とりあえず組合長就任にあたり、広報紙を通じて、皆さんの御支援をお願い申し上げるとともに、御挨拶いたします。

民酒主義に徹し

杜氏四十一年

浦 佐藤栄作さん (68才)



越路町 杜氏 四十一年 浦 佐藤栄作さん (68才)

今回は現役で杜氏最古参の佐藤さんに登場願いました。お尋ねしたのは出かけられる二・三日前で、東山に初雪がきて木枯しの吹く中、庭木の囲いをされているところでした。

以下は奥さんと二人からうかがったことを要約したものです。

経歴
一大正十三年(十八才)初出稼
一昭和九年(二十七才)杜氏。
一以後四一年間茨城県の同一会社に杜氏として勤続。
一現在茨城県内の杜氏会会長

酒造りにとびこんで五十年といえは半世紀であり、戦時中も休まず酒を造っていたが、思いかえずと時代の変遷はひとりでなく例え昭和初期は不景気で、食わせてもらえれば給料なんかいらぬ位であった。だから酒屋へつれていってもらうためには、農繁期には杜氏宅へ無償奉仕にとんでいたりした。正に杜氏は神様だったけれども、最近の杜氏は人手不足のため三洋九洋して人頼みに歩かねばならない。極端な例だが、人手がなく杜氏をやめた人もある。

酒造りの作業も昔はことごとく人力に頼っていたから、タメで水・湯・ふかし米等を運搬し、一日まともに働いたうえ、夕食後は夜間作業あり、交代で不寝番あり、「ふかし」は深夜に始るといった具合だったが、最近機械化が進みどこでどうなつて酒ができるのか

少し位の経験者ではわからない程になっている。もっとも苦労は出稼者だけではない。半年間後家をいられる奥さんの話にうつつがある年は信濃川の対岸の舟で往復しなければならぬ田に稲を残したまま出かけたこともあったし、雪掘りももちろん、縄ない・俵・カマス・ムシロ作りも雪がとけるまでには子供を背にして仕上げなければならぬ。加えて雪の夜子供が病気になるなど、その不安はいいようがない。

しかし昨今出稼先からの滞宅は随時都合をつけてできるし、四月には血色よし、カツブクよしで帰郷する諸氏を見ることは良い条件に恵まれている証です。

そうはいっても若い人達が家庭を離れるのを敬遠するのも当然な時代である。県外へ出稼にでる四十才以下の人は越路町から絶無といつてよい位ない。やがては冬期間酒造りに出たことも語り草となり、越路町の歴史のひとつの時代を画するにとどまるであろう。

けれどもわが町の先人達が、くり返しいんどんできた事すなわち、雪消えに畦をぬり、苗代を作りスジを蒔き、田打ち・代かき・田植・炎天の除草・ハサを作り・稲刈り・脱穀・稲摺り・そして休む間もなく酒造りに家を後にし、酒屋唄をかりれば、厳冬の中宵にモトをすり、夜中にふかし、そして最後の

越路町は古くから秋始末がすむと、雪の舞い始める直前には酒造りに多勢の人達が旅立つ。酒屋への出稼が初まったのはいつの頃からか定かでないが、ここに登場する佐藤さんのお父さんも出稼ぎに行っていたことから考え

ると、明治よりはるか以前である。現に不動沢では半年男手がなくなると、女消防団が最近まで組織されていたことも、出稼の歴史の古さを証明しているわけです。

酒造りに関するチャンピオンは色々の分野であると思いますが、

